

事業名		県営中山間総合整備事業		路河川名等				
事業毎の通番		1	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)	美の郷(うつくしのさと)		
事業概要	事業目的	当地区は美ヶ原高原の麓の清流と緑豊かな自然環境、温泉や史跡などの観光資源に恵まれた農村地域であるが、少子高齢化、後継者不足、農地荒廃化など社会的問題に直面している。内村地域では平成33年の三才山トンネル無料化による交通量の増大が見込まれ、安全確保のため生活・営農環境対策が喫緊の課題である。この地域においては、農産物直売所「あさつゆ」を核とした他地域で取扱いの少ない少量多品目の農産物の栽培を強化・推進し都市との交流を図る。農業生産基盤の整備と併せて集落営農の組織化を推進し、内村・武石の地域住民協働による農地保全体制の確立を図る。また農業体験を行っているグループと丸子温泉郷の宿泊施設との連携体制を構築し、都市住民との交流を活性化させる。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	1-3 夢に挑戦する農業		事業実施の根拠法令等	土地改良法			
	関連する事業、計画等	第2期長野県食と農業農村振興計画、第2次上田市総合計画、第7次土地改良長期計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	受益面積 A=97ha						
	着手年度	平成29年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成34年度	費用対効果	1.0	国庫	495,000	135,000	243,000
	全体事業内容(主な工種)	用排水施設工 L=1,410m、農道工 L=2,600m 農業集落道 L=1,760m、防災安全施設 2箇所			900,000	495,000	135,000	243,000
	年度事業内容(主な工種)	測量試験費 一式			20,000	11,000	6,000	10,000
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	作物の生産性向上、営農経費の節減、維持管理費の節減、走行経費の節減					
		間接的効果(定量的・定性的)	災害防止、生活環境改善、地域コミュニティ維持向上、都市・農村交流促進、耕作放棄地の発生防止、農業集落の定住の促進					
評価の視点	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 受益農地面積：97ha ○ 地元組織の有無：農事組合法人エコーズフェス武石、内村っ娘の会等 ○ 6次産業化への取り組み：農産物直売所「あさつゆ」、えだまめの会 ○ 地域用水：生活用水、防火用水 ○ 生活道路：高梨集落 					評価	A
	重要性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関連施策との整合：第2期長野県食と農業農村振興計画、第7次土地改良長期計画、第2次上田市総合計画 ○ 地域指定：特定農山村、振興山村 ○ 人・農地プラン：H27作成済み ○ 日本型直接支払制度：検討中 ○ 用水不足、排水不良：受益面積の57%に影響 					評価	A
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 費用便益比：1.0以上 ○ 事業期間：6年間(H29～H34) ○ 工法等の比較検討：水路の工法検討、安全施設の設置検討 					評価	B
	緊急性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 耕作放棄地の解消：上田農業再生協議会 ○ 高齢化率率 30.2% ○ 人口減少率 16%(10年間) ○ 用水の状況：施設の耐用年数超過が50%以上 					評価	A
	計画熟度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業情報の共有：関係者を対象に事業調整会議を実施 ○ 地域の取り組み：推進委員会を設立して積極的に取り組み ○ 地域の合意形成：自治会と推進委員会による同意形成 ○ 住民との協働：旅館組合・6次産業グループと連携による維持管理 					評価	A
	部意見	用水の安定供給と農道整備による営農条件改善のため必要性が高い。農業集落道と防災安全施設の整備により農村集落の環境改善を早急に図る必要があり、緊急性が高い。	行政改革課意見	後継者不足、農地荒廃化など社会的問題を解決するために、営農条件、農村集落の生活改善を図るための整備であり、緊急性が高く、必要性、重要性も認められる。	評価結果	○	総合評価	A



農業集落道整備

① 坂道

⑤ 梨ノ木

農業用排水施設整備

農道

事業概要説明図表

美の郷整備計画(案)一覧 (単位:ha・m・㎡・箇所・千円)

No.	箇所	受益	事業量	概算事業費	No.	箇所	受益	事業量	概算事業費
1.農業生産基盤整備事業					2.農村生活環境基盤整備事業				
①農業用排水施設整備					①農業集落道整備				
1	坂道	14	300	50,000	10	高梨		550	100,000
2	和子	19	360	40,000	11	大嵐		80	50,000
3	築地原	10	400	50,000	12	穴武		230	50,000
4	浦二本木	12	350	30,000	13	虚空蔵		400	50,000
					14	下和子		500	100,000
小計	4	55.0	1,410	170,000	小計	5		1,760	350,000
②農道整備					③農業集落防災安全施設整備				
5	梨ノ木	8	1,500	150,000	15	入山	防火水塔	1箇所	10,000
6	上河原	4	1,100	30,000	16	裏	庫石貯池	350	40,000
小計	2	12.0	2,600	180,000	小計	2		350	50,000
③農地防災					1.農業生産基盤整備				
7	赤岩	14	400	70,000	9			97.0	4,810
8	久保田	12	250	30,000	2.農村生活環境基盤整備				
9	日影	4	150	50,000	7				2,110
小計	3	30	800	150,000	合計	16		97.0	6,920

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景

内村地域と武石地域は、合併前、丸子町・武石村として行政区分は分かれていたものの、両地域間の往来は多かったため、古くから生活を通じての交流が行われていた。内村地域は担い手の高齢化、後継者不足が課題となっており、一方、武石地域は経営規模の拡大を希望している担い手が法人・個人ともに多く、両地域が連携した農業体系の構築が必要である。

②地域からの要望経緯及び地域の関わり

事業実施に対する地元の期待は非常に大きく、内村地域・武石地域ともに推進委員会を立ち上げており、事業の推進体制は整っている。また、上田市との協力体制も整っており、計画内容について各種会議で幅広く周知するなど、事業実施に向けた地域の合意形成を進めている。

③事業説明等の経緯

H24年：内村・武石地区 事業実施要望書提出
H25.5月：要望箇所現地調査
H26.8月：中山間総合整備推進委員会設立
H26.11月：内村活性化推進委員会設立 H27.1月：武石活性化推進委員会設立

④他事業・プロジェクトとの整合、関連

第2期長野県食と農業農村振興計画、第2次上田市総合計画、第7次土地改良長期計画に基づき、作物の生産性向上と6次産業化の推進により地域を活性化させる。また、国道254号の道路整備とも併せて集落道の整備を行うことにより地域の活性化が図られる。

⑤自然環境・生活環境への影響と配慮

水路や道路法面の表土を保全し在来の動植物や自然環境への影響を極力回避する。

⑥地域活性化への影響と配慮

農業用施設の更新と生活環境施設の整備により、農業基盤と生活基盤が改善される。併せて6次産業や都市住民との交流活動により地域の活性化が図られる。

⑦その他

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 19' 30"
東経:E 138° 15' 51"